

厚生労働科学研究費補助金（新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業）  
分担研究報告書

医療機関・施設における感染対策教育に関する研究

研究分担者 新居 晶恵 三重大学医学部附属病院 感染制御部 副看護師長  
研究協力者 松島 由実 岡波総合病院 副看護部長

研究要旨

三重県内の高齢者施設等を対象に県下3箇所で感染対策研修会を開催した。県内232の高齢者施設に案内し、84施設（全体の36%）から122名の参加があった。講師・ファシリテーターは、三重県内に在職する感染管理認定看護師17名が勤めた。計2時間のレクチャー・演習・グループワークを行い、概ね高い評価が得られた。高齢者施設等を対象にした研修会の講師・ファシリテーターとしては、感染管理認定看護師が適任と思われるが、個々の看護師が地域全体を対象に研修会を継続的に実施することは難しく、感染対策地域ネットワークの枠組みを活用することは有用な手法の一つと考えられた。

A. 研究目的

三重県感染対策支援ネットワーク（MieICNet）では、平成28年度より地域連携の一環として高齢者施設等を対象に感染対策研修会を開催している。本研修会では、地域の感染管理認定看護師が高齢者施設等で勤務するスタッフへ直接感染対策を教育することを目的としている。本分担研究では、この枠組みを用い、他地域でも参考となる研修会の内容や運営方法を提示することが目的である。

B. 研究方法

平成29年度のMieICNet活動の一環として、三重県内3か所で開催する高齢者施設等感染対策研修会の準備から終了後までの活動内容をまとめ、アンケート結果等をもとに検証した。

C. 研究結果

研修会は、三重県内の高齢者施設に勤務する方や在宅ケア等に従事する方を対象とし、多くの方が参加できるよう、場所と日時を変え、三重県内の3病院で実施した。

1. 研修会の周知

研修会は三重県感染対策支援ネットワークが主催、三重県老人保健施設協会および三重県老人福祉施設協会が後援となり実施した。三重県内の老人保健施設64施設に対しては三重県老人保健施設協会より、また、老人福祉施設168施設に対しては、三重県の担当部局よりメールにて周知した。

2. 研修会の開催概要

①北勢医療圏

日時：2017年12月3日（日）10:00～12:00

場所：四日市羽津医療センター

参加者：30名

ファシリテーター：感染管理認定看護師5名

②中勢医療圏・南勢医療圏

日時：2017年12月10日（日）10:00～12:00

場所：済生会松阪総合病院

参加者：75名

ファシリテーター：感染管理認定看護師8名

③東紀州医療圏

日時：2017年12月9日（土）13:00～15:00

場所：紀南病院

参加者：17名

ファシリテーター：感染管理認定看護師5名

三重県 高齢者施設等感染対策研修会 2017

「三重県感染対策支援ネットワーク (Mie Infection Control Network: MieICNet)」では、高齢者施設や在宅ケアにおける感染対策とその向上を目指して、研修会を開催します。知識や情報の習得、日頃の悩み解決にお役立てください。

**参加無料**

**A** 日時 2017年12月3日(日) 10:00~12:00  
 場所 四日市羽津医療センター 健康管理センター4F (四日市市羽津山町10-8) 多目的ホール

**B** 日時 2017年12月9日(土) 13:00~15:00  
 場所 紀南病院 2F すこやかルーム (南牟婁郡御浜町阿田和4750)

**C** 日時 2017年12月10日(日) 10:00~12:00  
 場所 済生会松阪総合病院 2病棟7階 講堂1・2 (松阪市朝日町1-15-6)

対象 三重県内の高齢者施設に勤務する方・在宅ケア等に従事する方 (施設の種類、職種などは問いません)  
 講師 感染管理認定看護師  
 日程と会場を変え3回開催いたしますので、ご都合に合わせてお申し込みください。研修内容はいずれも同じです。(裏面) 多数のご参加をお待ちしております。

主催：三重県感染対策支援ネットワーク (Mie Infection Control Network: MieICNet)  
<http://www.mie-icnet.org/>

**三重県 高齢者施設等感染対策研修会 2017**

項目	内容
レクチャー	感染対策の基本についてレクチャー 日頃の感染対策について確認しましょう
実技演習	吐物の処理を実技演習 ノロウイルスの処理方法について演習してみましょう
Q&A / 全体討議	日頃の疑問や悩みにお答えします 他施設との情報を交換しましょう

**お申し込み方法 FAX (059-231-5704)**

必要事項を記載して三重大学医学部附属病院 感染制御部 宛てにFAXしてください。

**申込締切 2017年 11月 28日 (火曜日)**

参加申込 (選択必須)

	A (12月3日)	B (12月9日)	C (12月10日)
いずれかに○			

参加者名  
施設名  
ご住所 (施設)  
ご連絡先 (電話番号・FAX) 電話: FAX:

地区別担当責任者 (感染管理認定看護師・順不同)  
 ● A【北勢地区】伊藤佐知子 (四日市羽津医療センター)  
 ● B【東紀州地区】根本保正 (紀南病院)  
 ● C【中勢・南勢地区】西尾由美 (済生会明和病院)  
 MieICNet運営委員 (感染管理認定看護師・順不同)  
 松尾由美 (岡波総合病院) 垣内由美 (県立総合医療センター)

お問い合わせ先 三重大学医学部附属病院 感染制御部  
 電話: 059-232-5714 FAX: 059-231-5704 担当: 新居 (アライ)

図1 研修会パンフレット

3. 参加者の勤務施設 (市町別)

市町別の参加者の勤務施設の状況は以下のとおりである (表1・図2)。

表1 市町別の高齢者施設数・研修会参加施設数

	老人 福祉 施設数	老人 保健 施設数	高齢者 施設数 合計	研修 参加 施設数
桑名市	6	5	11	3
いなべ市	5	1	5	2
川越町	1	1	2	1
菰野町	3	3	6	1
四日市	25	7	32	7
鈴鹿市	14	4	18	0
亀山市	7	1	8	1
津市	30	12	42	13
伊賀市	13	4	17	1
名張市	8	2	10	1
松阪市	16	6	22	8

明和町	1	1	2	2
玉城町	1	2	3	2
度会町	1		1	3
多気町	1	2	3	0
大台町	3	1	4	0
南伊勢町	2	1	3	2
伊勢市	9	4	13	8
尾鷲市	6		6	4
鳥羽市	2	1	3	8
志摩市	5	2	7	8
御浜町	2	1	3	1
紀宝町	1	2	3	1
紀北町	3		3	1
大紀町	1		1	2
熊野市	2	1	3	4
参加施設 合計	168	64	232	84

(※) 施設数は、平成29年10月に三重県老人保健施設協会および三重県老人施設協会に加入している施設数である。

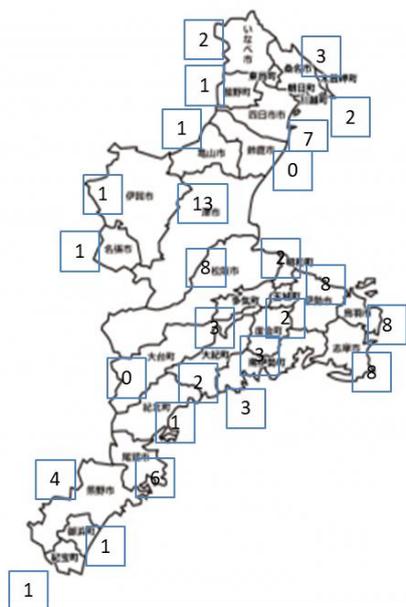


図2：市町別参加施設数

地図上に示した数字は、市町別の参加施設数を表す。

#### 4. 研修内容

3会場で同一の内容とした。

- ①感染対策の基礎レクチャーと個人防護具の着脱の実演
- ②吐物処理演習
- ③グループワーク・Q/A（日常的な感染対策の疑問等に関する情報交換）

#### 5. 吐物処理演習の必要物品

- ①模擬吐物（レトルト食品、缶詰、お菓子など）
- ②床面保護のためのブルーシート
- ③防護具（未滅菌手袋 L M S、ガウン、マスク）
- ④手指衛生用アルコール
- ⑤吐物処理必要物品（新聞紙、ペーパータオル、ペットボトル、次亜塩素酸ナトリウム、ビニール袋）
- ⑥吐物の飛散状況を確認するための物品（蛍光塗料、ブラックライト）

#### 5. 研修会開催にあたっての活動内容

平成 29 年度の研修会開催の準備から終了までの活動内容を以下に示す。ここでの事務局は、MieICNet 事業の委託を受けている三重大学病院の看護師をいう。

日時	内容
平成 29 年 6 月 27 日	高齢者施設等研修会担当する感染管理認定看護師による打ち合わせ。開催場所、日程、内容を協議し、内容を決定
8 月 1 日	各地域で調整を行い、開催場所、日程を決定
11 月 7 日	案内文書作成・後援依頼（事務局）
11 月 10 日	講師・ファシリテーターへの依頼文発出（事務局）
11 月 10 日	案内文書メール配布（三重県・老人保健施設協会） FAX での参加登録開始（事務局）
11 月 23 日	高齢者施設等研修会担当で打ち合わせ。会場内のレイアウト、駐車場、懸垂幕、必要物品、アンケート、各会場の参加者人数等の情報共有、および、講師・ファシリテーター数の確認
11 月 28 日	事前申し込み締め切り
12 月 3 日	講師・ファシリテーターによる研修前打ち合わせ、および、研修会
12 月 9 日	終了後の振り返り
平成 30 年 3 月 8 日	来年度方針検討（MieICNet 運営委員の看護師と事務局）

#### 6. アンケート結果（詳細は別紙参照）

3会場合計で計 122 名の参加があり、うち 116 名からアンケートの回答を得た。職種は、看護師が 53%と最も多く、介護福祉士 28%、介護職 9%の順であった。施設内の役割については、スタッフが 42%と最も多く、リーダー（主任を含む）19%、感染対策担当者 19%、管理者 13%の順であった。講義に

関しては、とても満足・まあまあ満足 95%、演習に関しても、とても満足・まあまあ満足 92%と、ともに好評であった。今後の研修内容としては、毎年同じ内容が良い 24%に対し、毎年異なる内容が良いが 52%であった。

#### D. 考察

MieICNet の研修事業の一環として、平成 28 年度、県内の一部の地域（伊勢・志摩地区）で実施した高齢者施設等研修会を平成 29 年度は、県下全域を対象を広げ、地域性も考慮して 3 箇所で開催した。

三重県内の高齢者施設 232 施設に研修会の案内を周知し、84 施設（全体の 36%）から 122 名の参加があった。三重県内に在職する 55 名の感染管理認定看護師のうち 17 名（のべ 18 名）が講師・ファシリテーターを勤めた。計 2 時間のレクチャー・演習・グループワークを行い、概ね高い評価が得られた。

高齢者施設等において感染対策を教育・啓発していく上で、医学・感染対策の知識とともに老年期の日常生活についての知識も豊富に持ちあわせる感染管理認定看護師は、講師・ファシリテーターとして適任と考えられた。しかしながら、個々の看護師が地域の高齢者施設等に声をかけをし、研修会を継続的に開催することは、以下の点で現実的に困難と考えられる。①院内業務や診療報酬で規定された地域連携以外の活動を自主的に行なうことは病院の管理運営上難しい、②高齢者施設等を網羅的に把握し、周知する手段がない、③パンフレット等の作成・印刷・配布や个人防护具等の必要物品の入手など事務的・金銭的な後立てがない。

三重県においては、三重県庁医務国保課が事務局となり、委託を受けた三重大学病院感染制御部が事務局機能の一部を担うことで、上記の課題を克服し、県下全域へ周知を行い、3 箇所での研修会を開催できた。

日本は、諸外国にないスピードで高齢化が進み、高齢者施設・在宅介護へのニーズが高まっている。医療現場と高齢者施設の間で患者が行き来するなかで、薬剤耐性菌が伝播する危険性、また、集団で生活する環境において、ノロウイルスやインフルエンザなどの集団発生の危険性があり、高齢者施設における感染対策の必要性がますます増している。このような施設で勤務するスタッフに対し、感染対策の実務的内容を教育する機会を提供することは、AMR 対策の一環としても、今後重要になってくる。高齢者施設等における感染対策向上の一手法として、感染対策地域連携の枠組みを用いることは有用と考えられた。

研修内容に関して、今回、感染対策の基本（標準予防策・感染経路別予防策）を中心としたが、参加者アンケートから、毎年基本的な内容を希望する一方で、ブラッシュアップした内容を希望している参加者も多いことが分かった。高齢者施設等のスタッフの構成を考えると、介護士に比較し看護師の参加割合が多いことが分かった。今後、研修会を継続していく上では、各施設で教育的立場となる看護師に対しては、より発展的な内容を提供する機会を設ける一方で、より多くの介護士が参加できる機会を提供していく必要があると考えられた。また、グループワークを設けることで、他施設の現状を聞くことができ、情報共有の良き場となっていることも分かった。

今回、医療圏を考慮し、県内 3 箇所で開催したが、会場近くの施設参加が多かった。会場からやや離れていた鈴鹿・亀山地域、伊賀・名張地域などからの参加は少なかったため、研修会の開催場所の設定は考慮すべき要因と思われた。

本年度の結果を踏まえ、三重県のすべての施設から 1 回は参加していただくことを目標にし、引き続き活動を行なって行きたいと考えている。

## E. 結論

三重県内全域を対象に3箇所が高齢者施設等研修会を開催した。県下全域の施設に研修会の周知を行うには、県の支援が必須であり、また運営事務局など実務的な支援を行う者が必要と考えられた。複数個所で開催しても、全施設の36%からの参加にとどまったため、引き続き基本的な内容での研修会を継続し、全ての施設からの参加を働きかけるとともに、各施設で指導的立場にあたる看護師などに対しては、より発展的な内容の教育も必要と考えられた。

## F. 研究発表

### 1. 論文発表

なし

## 2. 学会発表

日本感染管理ネットワーク東海北陸支部  
第25回定例会

「三重県感染対策支援ネットワーク  
(MieICNet)の事務局を担当して」

## G. 知的財産権の出願・登録状況

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他

なし

